

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 7月27日更新

事務事業名		合志市市民大学事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名 菅真一郎
	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備			所属班	生涯学習班	(内線) 1513
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 3	事業連番 11348	法令根拠	成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ⑪
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	生活や地域の課題に対応するために幅広い知識や技術の習得を目指す市民に対し学習機会を提供するため、市と連携する県内の高等教育機関等の協力の下、市民大学を設立し各種講座を開講した。「火山・地震」「歴史・文学」の2つのコースを設け、1コースにつき4コマの連続講座を実施した。両講座とも、本市と学市連携協定を結んでいる大学や学校、また県内の専門家を講師とした。
【業務の流れ】	①テーマ及び講座・講師の選定。②講師の依頼。③受講生の募集。④講師との打ち合わせ。⑤講義の準備。⑥講師謝金等の支払い。
【主な予算費目】	報償費(講師謝金)・人件費(担当者時間外勤務手当)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	毎回、講義終了後にアンケートをとっているが、受講生からは、次年度に学びたい内容やなどについての意見や要望が寄せられている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	23年度は、11月~12月にかけて「火山・地震」コースを、1月~2月にかけて「歴史・文学」コースを、それぞれ4コマずつ開催。各講座は、毎週土曜日の午前10時30分から開講(1時間30分程度)。今年度の開催日時は、交通手段を持たない方が、会場のビューブルに来ることができるよう、レターバスや循環バス、乗り合いタクシーやその他の公共交通機関の運行時間に合わせて設定した。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 次年度も複数のテーマを設定し、一つのテーマにつき2回の講座を開催する計画である。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回 ア:開講講座の回数 イ:受講生数	予算の主な増減の理由 開催回数の減による報償費(講師謝金)の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	(単位)人 ア:市民 イ:	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)人 ア:市民 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 幅広い知識や教養を身につけることができる。	(単位)人 ア:幅広い知識や教養を身につけることができたと考える人数 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)人 ア:幅広い知識や教養を身につけることができたと考える人数 イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込	
①活動指標	ア 回		6	11	9	8	6	6	6	6	
	イ 人		139	140	180	215	120	120	120	120	
②対象指標	ア 人		55,036	55,828	56,000	56,638	56,500	56,000	56,000	56,000	
	イ										
③成果指標	ア 人		125	140	50	157	50	50	50	50	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		122	25	149	30			
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	102	78	155	11	90	240	120	120
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	346	450	400	100	400	400	400	400
(B)人件費計		千円	1,377	1,854	1,648	403	1,648	1,648	1,648	1,648	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,479	2,054	1,828	563	1,768	1,888	1,768	1,768	

事務事業名	合志市市民大学事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 各コースに分け、本当に学びたい人だけが出席するようになり、受講生の延べ人数自体は減ったが、適切な受講予定者数を設定することで、実態に合った目標値を設定できるため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 アンケートから得た、受講希望者が学びたい分野やテーマ等の講座を開催するなどして、内容をより高めていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各課で行っている講演会や講座などと連携することで、成果の向上が期待できる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費のほとんどは講師への謝金であるが、主に市と市学連携している大学等から低い金額で大学教授などを招聘しているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費のほとんどは講師への謝金であるため、正規職員以外の職員や外部委託する場合、別に人件費や委託料が発生してしまうため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受講者は受講料を支払っており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 受講生や市民の中から有志を募り、ボランティアの市民大学友の会や運営委員会といった組織を立ち上げ、ここに講師の選定や打ち合わせ、受講生への連絡、講座当日の受付等を行ってもらうことで、市民自身が行政とともに学びの場を作り上げていくことが今後の活性化に繋がる。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現在のところ、各講座の受講生数が当初の予想より少ないが、アンケート結果からみると90パーセント以上の方が満足されている。今後は、募集のやり方などに工夫を加えて、受講生の増加を目指したい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						